

上 田 勉

3・11 伝承ロード主催 宮城県石巻地域周遊伝承バスツアーに参加して

今年東日本大震災・福島第一原発事故からまる 11 年、そのこともあって、1 月 29 日に、石巻地域周遊伝承バスツアーに参加しました。仙台駅発午前 9 時・到着午後 5 時でした。訪れた場所は、女川町・石巻市・東松山市です。(費用は 5,000 円 (昼食付))

【女川町】復興の優等生 約 4 割の住民が帰還しない

女川町では、まちなか交流館で津波を見て、その後語り部ガイドさんの案内で、シーパルピア女川(商店街)と倒れている旧女川交番(震災遺構)を見ました。女川町は復興の優等生です。国の復旧・復興事業を待たないで、住民参加によって復興や街づくりを行いました。駅には日帰り温泉もあって、駅前の新商店街は、多くの観光客を集めています。しかし、ほとんどの店は観光客向けで、地元の人向けの店は少ないです。震災後は 2km ぐらい離れた場所に、「希望の鐘商店街」という仮設の商店街がありました。地元の庶民的な商店街でした。私は肉屋でコロケを買って食べたことを思い出しました。地元の人達は、石巻のスーパーへ買い物に行くみたいです。東北電力女川原発は、地震によって直接に被害を受けました。また、原発事故の時に国や電力会社の司令塔本部になるオフサイトセンターは、津波によって損傷して、複合災害の時には役に立たないことが分かりました。

【石巻市】全国の市町村で最大の被害 日本製紙石巻工場=再興するもリストラ

石巻市では、みやぎ東日本大震災津波伝承館を見学しました。宮城県の伝承館は、私が非常勤で働いている福島県の伝承館と比べて、お金をかけていない建物です。広大な石巻南浜復興祈念公園では、津波で亡くなられた石巻市の全ての犠牲者の方達の名前が、石碑に刻まれていました。将来は、宮城県全部の犠牲者の方達の名前がここに刻まれる、とのこと。近くには、震災遺構として保存する予定の門脇小学校が見えました。

【東松島市】復興の街づくりに励む 小中学校 6 校が統廃合で 3 校に

東松島市では、旧 JR 仙石線の野蒜(のびる)駅の駅舎で、津波の映画を見ました。駅舎は震災当時のままで、線路は曲がっています。その先で電車が停止して、乗客は鉄道員の誘導で高台に無事避難した、とのこと。その後、語り部ガイドさんの案内で、バスの中から防災集団移転事業(「防集事業」)で復興した、野蒜ヶ丘団地を見学しました。ガイドさんの話で、困っていることは、団地には飲み屋が 2 軒しかないとのこと。

現在被災者の方達の多くは、防集事業の土地の持ち家や災害公営住宅に住んでいます。仮設住宅の時には、多くのボランティアの方達も出入りして、被災者同士の交流もありました。しかし、それぞれが高層住宅や持ち家に住むと、コミュニティが薄れます。

【女川町】 死者： 574 人 行方不明者：253 人 人口減少率：-39.5%

【石巻市】 死者：3,553 人 行方不明者：417 人 人口減少率：-13.6%

【東松島市】 死者：1,110 人 行方不明者：23 人 人口減少率：-8.6%

※死者には震災関連死を含む、人口減少率=2020 年の人口/2010 年の人口



【倒れている旧女川交番（震災遺構）（女川町）】



【津波で曲がった野蒜駅のレール（震災遺構）（東松島市）】